

【常磐図書館】

いわき市合併以前の図書館で、最も活発な図書館活動を見せていたのが、「いわき市立常磐図書館」の前身である「湯本町公民館図書室」です。

湯本町公民館図書室は、昭和 26 (1951) 年 8 月 1 日、湯本町公民館内に開館しました。同年 4 月に落成した湯本町公民館は、総工費 1,200 万円 (当時)、建坪 310 坪、総二階建てで、2,000 人収容可能の公会堂を有するなど、県内でも有数の規模を誇る公民館でした。図書室も 2,000 冊収蔵可能で、閲覧席は 100 名収容できるほどでした。

開館当初は、館外貸出を行っていませんでしたが、昭和 27 (1952) 年 2 月に、①貸出証による無料貸出、②貸出期間は 8 日間、③延滞料を 1 日 2 円とすることを決定します。蔵書は年々増加し、図書室が手狭になってきたこともあり、昭和 28 (1953) 年頃から独立図書館運動が活発になりました。

当時の常磐地区は、常磐炭礦株式会社をはじめ、中小の炭鉱が林立しており、炭鉱で働く人々とその家族が多く住んでいました。「炭鉱のまち」の図書館らしく、炭鉱技術や電気関係の図書を充実させ、夜間開館を実施するなど、炭鉱で働く人々が多く利用していました。

昭和 29 (1954) 年 3 月 31 日、常磐市が発足し「常磐市立湯本公民館図書室」に名称変更、昭和 41 (1966) 年 10 月 1 日には、いわき市が発足し「いわき市立常磐公民館図書室」に名称変更しました。

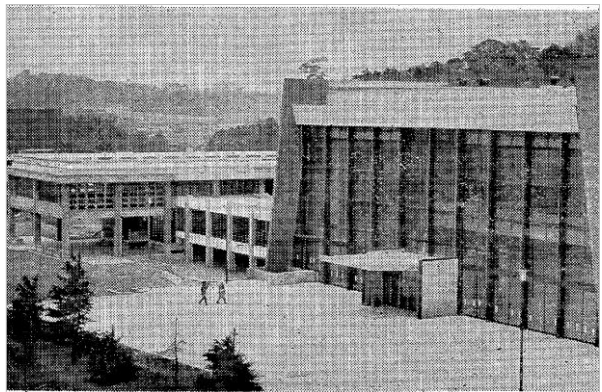
常磐地区では、旧市時代の昭和 40 (1965) 年 5 月から「常磐総合文化センター」(現 常磐市民会館)の建設が始まり、昭和 42 (1967) 年 3 月に完成しました。常磐公民館図書室も同文化センターの 2 階へ移転し、同年 4 月「いわき市立常磐図書館」へ名称変更、現在に至ります。



湯本町公民館(『湯本町勢要覧 昭和 28 年度』)



湯本町公民館図書室 館内(『湯本町勢要覧 昭和 28 年度』)



常磐市民会館(『いわき民報』昭和 43 年 2 月 8 日付)



常磐図書館 館内(昭和 46 年 2 月 いわき市撮影)